

104-228

問題文

この患者に行う中心静脈栄養法及びその注意事項として、適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. 投与エネルギー量は、2,000kcal/日から開始する。
2. 輸液にビタミンB₁を添加する。
3. 栄養補給後の血清リン濃度の低下に注意し、低下傾向が見られた場合、速やかにリン酸製剤の投与を実施する。
4. 必要に応じて亜鉛などの微量元素の補充を行う。
5. 患者の様子を見ながら、経腸あるいは経口での栄養補給に変更していく。

解答

問228 : 2, 3問229 : 1

解説

問228

選択肢 1 ですが

体重が大きく減少しており、基礎代謝量は同性、同年代の健常人に比べて「低い」値を示していると考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は妥当な記述です。絶食時の代謝です。

選択肢 4 ですが

コレステロールは細胞膜成分や、ホルモンの材料として用いられます。エネルギー産生に利用されているという記述は適切ではないと考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

40 kg であれば、まず基礎代謝量が $25 \times 40 = 1000$ です。身体活動度をかけたものが、推定エネルギー必要量です。 $1000 \times 1.5 = 1500$ です。2000 ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問228 の正解は 2,3 です。

問229

選択肢 1 ですが

慢性的栄養不良状態が継続している患者に、積極的栄養補給を行うと、一連の代謝合併症が引き起こされます。これをリフィーディング症候群と呼びます。これを避けるため、重症では 5kcal/kg/日、通常 10kcal/kg/日 程度からの栄養投与を開始し、様子を見ながら 100 ~ 200 kcal/日ずつ増量していきます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ~ 5 は妥当な記述です。

以上より、問229 の正解は 1 です。